

S15シルビアからGRヤリスへ。
再び、走る楽しさを取り戻した女性オーナーが語る、
こだわりと情熱に満ちた愛車との日々。

/ GR Yaris

『やんちゃ』な相棒と再び走り出す

— GRヤリス × S15miriさん

— Profile

元・日産S15シルビアオーナーで、走行会にも参加していた経験を持つ根っからのクルマ好き。
現在はGRヤリスを相棒に、再び“走る楽しさ”を追求中。
愛車選びやカスタマイズへのこだわりは随所に光り、走りと自分好みのスタイルを両立させる日々を楽しんでいる。



OWNER'S STYLE CHECK

- マフラー：TRUST
- ホイール：RAYS CE28SL
- エアロ：GR PARTS
- 今後のカスタム予定：
HKS カーボンエンジンカバー
／エアクリナー



走る喜びをもう一度、GRヤリスがくれた新たな物語

「このクルマは、とにかく、やんちゃ、なんです。」
そう笑顔で語るのは、GRヤリスのオーナー・S15miriさん。
その名前の通り、かつては日産S15シルビアを愛車に、走行会にも参加していたという筋金入りのクルマ好きだ。そんな彼女が、再び胸を高鳴らせてステアリングを握るのが、GRヤリス。
「最初に惹かれたのは、斜め前から見たときのあのスタイルと、お尻のデザイン。もっ、たまらなく好きなんです」
GRヤリスとの出会いは、再始動のきっかけだった。
愛車S15が盗難に遭ってしまっ以降、しばらくは落ち着いたカーライフを送り、カローラフィールダーを2台乗り継いでいた。
そんな彼女の心を再び揺さぶったのが、GRヤリス1STエディションの登場だった。
「これはいいかも、って。でも当時は試乗ができなくて、我慢して、じっと待ってました」
そしてついに訪れた、待望の試乗の日。
「アクセルを踏んだ瞬間、あ、コレだ！、って思いました。足回りがしっかりしていて、GR-FOURの安定感も抜群。まさに、やんちゃ、って感じで、走りがすごく楽しいんです」



もちろん、こだわりも随所に光る。
「リアガラスが小さくて後方が見づらかったから、バックカメラを後付けしました。設定がなくても、自分仕様にしたくて」
カスタム面では、ホイールにRAYSの名作「CE28SL」をチョイス。
「見た瞬間、これしかない！、って思いました」
GR純正エアロとの相性もバッチリで、全体のバランスも完璧だ。
現在はリアウイングを探し中だが、これだ、というものにはまだ出会えていないという。
その代わりにHKSのカーボンエンジンカバーやエアクリナーの導入を計画中。

「また走行会にも行きたいですね。サーキットでこの子走らせたらどうなるか、想像するだけでワクワクします」
S15miriさんにとって、GRヤリスは、走る楽しさ、を思い出させてくれた、大切な存在。
この、やんちゃ、な相棒と過ごす日々は、これからの新しい物語を描き続けていく。

EDITOR'S Note 編集後記

S15からフィールダー、そしてGRヤリスへ。
その変遷にあるのは、クルマを楽しむ心が一度も消えていなかったという事実でした。
S15miriさんの言葉の節々から伝わる、GRヤリスへの素直なときめき。走りに惚れ込み、カスタムにもこだわり、そして「また走行会に行きたい」と語る姿は、まさにクルマ好きの原点を体現しているようでした。
この、やんちゃな相棒と描かれる次のページも、きっと素敵なドラマになることでしょう。

